

双方向コミュニケーションを 標榜するエージェント 共立コミュニケーションズ

<http://www.krcom.co.jp>

相神典夫社長のプロフィール

生年月日／1961年7月5日
出身地／東京都北区
最終学歴／獨協大学経済学部
趣味／ヨット、ゴルフ
座右の銘／「継続」



社名「共立」を地で行くことで厳しい業界で地歩を固めてきた。その強みは複合メディア（印刷媒体・電子媒体・ビデオ映像）制作、広告企画、セミナー、展示会などを統合したトータルプロモーションサービスにある。

—— IT企業をメインとして
広告制作・代理業で既に40年の実績があります。

相神 企業やその製品・サービスのPR用コミュニケーションツール制作、セミナー、展示会などのイベント企画・運営までのトータルプロモーションを中心に、映像・ウェブ制作なども加えて横浜(本社・アートスタジオ)と東京(プロモーションセンター)を拠点しております。これまで六本木ヒルズのプレオープンング(2003年)イベントや横浜APPEC(10年)のオープンングセレモニーなどの企画・運営も直で手掛けさせていただきました。

—— 大きな実績ですが、ご苦労もあつたのでは。

相神 常に心に命じているの

は、僕らは「陰のエンターテインメント」だということです。その現場で常に今に最善を尽くし成功させることを心掛けています。何があつても過去に遡ることはできないわけですから。そう割り切ることが大事です(笑)。

—— ご経験から得た「達観」ですか。

相神 先代(松居隆則会長(故人))から多くのことを学びました。この仕事はいろんなトラブルやアクシデントが付きものです。クライアントが大きくなればなるほど、押しつぶされそうになるところがあります。そんなときでも彼は決して焦らない人でした。すべてを受け止めて、かつ動ぜず、ビジネスの最終点だけを見据えて行動できる人でした。僕は今でも真似できませんが。

—— ウェブや映像のコンテンツ制作なども自社スタジオで行っています。

相神 「プロモーション」を前面に出してはいますが、当社の

基本はその企業の製品やサービスもしくは会社自体をPRしたいときに、そのお客さまとコミュニケーションを取る手段が分からない人のためのツール提供がミッションだと思っています。お客さまのご要望、ご予算に応じた最善の手段やツールを考えるのが僕らのスタンスです。それも単なる発信ツールではなく、真の意味で「お役に立てる」双方向のコミュニケーション・ツールのご提供を標榜しています。

—— その意味でも御社40年の歴史は重いですね。

相神 まさしくそう思います。「継続」は座右の銘でもありますが、そこに会社があり、そこに人がいて初めてその仕事に携わられる。そこにミッションを持つて事業を継続していけば、必ず新しいことに対応していけるものと思っています。

【会社データ】

設立／1972年7月
資本金／3000万円
従業員／22人
所在地／東京都、神奈川県